



# 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ソレキア株式会社  
コード番号 9867 URL <https://www.solekia.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3732-1132

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,116	11.4	36		10		12	
2023年3月期第1四半期	4,592	3.1	129		104		81	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 10百万円 ( %) 2023年3月期第1四半期 115百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	14.01	
2023年3月期第1四半期	94.46	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	18,716	8,934	47.7
2023年3月期	19,207	8,997	46.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 8,934百万円 2023年3月期 8,997百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				60.00	60.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 10円00銭

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	0.1	1,060	6.2	1,060	3.0	660	5.6	763.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	865,301 株	2023年3月期	865,301 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,098 株	2023年3月期	1,098 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	864,203 株	2023年3月期1Q	864,273 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが2023年5月に5類に移行したことに伴い、経済社会活動の一層の正常化が進み、インバウンド需要等の回復が見られましたが、原材料や物価の高騰に加え、ウクライナ情勢の長期化による経済への影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や欧米諸国での金融引き締め政策等を背景とする経済の減速懸念もあり、今後の動向を注視していく必要があります。

ICT業界におきましては、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）への期待や需要は継続しており、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）などのデジタル技術の進化とともに、システムの更新、クラウドサービスやセキュリティ対策需要には底堅さがあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが続きました。

このような経営環境のもと、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は、サーバやパソコンなどの情報通信機器、電子デバイス、システムエンジニアリングサービスが増収となったことから、売上高は51億16百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

損益面につきましては、売上高が増加したことに加えシステムエンジニアリングサービスの採算性が向上したことにより前年同期に比べ改善し、営業損失36百万円（前年同期は1億29百万円の営業損失）、経常損失10百万円（前年同期は1億4百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円（前年同期は81百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、ヘルスケア商談における組込み用のサーバやパソコンの需要増加により、情報通信機器が増収となり、システムエンジニアリングサービスおよび電子デバイスも増収となったことから、売上高は32億54百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加とシステムエンジニアリングサービスの採算性の向上により、営業利益は29百万円（前年同期は68百万円の営業損失）となりました。

「東日本」は、民需や前年同期に大きく増加した文教向け商談の減少により、情報通信機器、システムエンジニアリングサービスおよびフィールドサービスが減収となったことから、売上高は8億34百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少により、営業損失は59百万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

「西日本」は、民需や自治体向け商談の増加により、情報通信機器、システムエンジニアリングサービスおよび電子デバイスが増収となったことから、売上高は10億4百万円（前年同期比25.5%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は40百万円（前年同期は7百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、4億90百万円減少し、187億16百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が16億35百万円、商品が9億83百万円、仕掛品が99百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が32億85百万円減少するなど、流動資産が4億99百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、4億28百万円減少し、97億82百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が増加するなど、固定負債が1億96百万円増加した一方、未払法人税等が4億23百万円、賞与引当金が2億11百万円減少するなど、流動負債が6億24百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、62百万円減少し、89億34百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が63百万円減少したことによるものであります。以上の結果、自己資本比率は47.7%（前連結会計年度末は46.8%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、業績は概ね予想どおりに推移しており、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,511,497	9,146,501
受取手形及び売掛金	7,653,299	4,367,946
電子記録債権	465,334	454,637
商品	940,305	1,923,802
仕掛品	61,115	160,151
その他	213,624	293,051
貸倒引当金	△979	△969
流動資産合計	16,844,195	16,345,121
固定資産		
有形固定資産	1,005,983	996,508
無形固定資産	27,998	28,011
投資その他の資産		
投資有価証券	428,143	458,258
敷金及び保証金	451,296	441,604
繰延税金資産	388,752	387,063
その他	67,991	67,132
貸倒引当金	△6,834	△6,888
投資その他の資産合計	1,329,348	1,347,169
固定資産合計	2,363,330	2,371,689
資産合計	19,207,526	18,716,811
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,600,781	3,657,129
短期借入金	1,130,000	1,130,000
1年内返済予定の長期借入金	700,000	675,000
未払法人税等	446,552	23,159
賞与引当金	301,900	90,400
役員賞与引当金	15,500	-
受注損失引当金	1,420	45
その他	1,068,737	1,064,812
流動負債合計	7,264,891	6,640,547
固定負債		
長期借入金	1,800,000	2,025,000
役員退職慰労引当金	81,315	60,643
退職給付に係る負債	1,003,048	996,040
資産除去債務	61,017	59,916
固定負債合計	2,945,381	3,141,599
負債合計	10,210,273	9,782,146

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,610	2,359,610
利益剰余金	4,222,560	4,158,597
自己株式	△3,897	△3,897
株主資本合計	8,871,281	8,807,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,461	207,965
為替換算調整勘定	△61,489	△80,619
その他の包括利益累計額合計	125,972	127,346
純資産合計	8,997,253	8,934,664
負債純資産合計	19,207,526	18,716,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,592,968	5,116,551
売上原価	3,887,263	4,316,548
売上総利益	705,705	800,003
販売費及び一般管理費	835,211	836,570
営業損失(△)	△129,505	△36,567
営業外収益		
受取配当金	5,289	3,968
為替差益	14,051	21,691
その他	11,128	6,543
営業外収益合計	30,468	32,203
営業外費用		
支払利息	4,886	5,829
その他	288	197
営業外費用合計	5,174	6,026
経常損失(△)	△104,211	△10,390
税金等調整前四半期純損失(△)	△104,211	△10,390
法人税、住民税及び事業税	7,090	9,090
法人税等調整額	△29,658	△7,369
法人税等合計	△22,568	1,720
四半期純損失(△)	△81,643	△12,110
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△81,643	△12,110

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△81,643	△12,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,212	20,504
為替換算調整勘定	△20,718	△19,130
その他の包括利益合計	△33,931	1,374
四半期包括利益	△115,574	△10,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△115,574	△10,736



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,534,146	1,227,688	799,969	4,561,805	31,163	4,592,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,459	—	—	1,459	41,930	43,390
計	2,535,606	1,227,688	799,969	4,563,265	73,094	4,636,359
セグメント損失(△)	△68,562	△1,242	△7,207	△77,012	△5,182	△82,195

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△77,012
「その他」の区分の損失(△)	△5,182
セグメント間取引消去	300
全社費用(注)	△47,611
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△129,505

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,254,320	834,831	1,004,015	5,093,167	23,383	5,116,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	20,860	20,860
計	3,254,320	834,831	1,004,015	5,093,167	44,244	5,137,411
セグメント利益又は損失 (△)	29,429	△59,252	40,357	10,534	△9,531	1,003

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失 (△)	金額
報告セグメント計	10,534
「その他」の区分の損失 (△)	△9,531
セグメント間取引消去	103
全社費用 (注)	△37,674
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△36,567

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。